広報みやこじま 2020年2月号

元気なBABY

仲間 蓮汰（れんた） くん
H30.7.12 生・伊良部
父：裕　母：里奈

池間 こはる ちゃん
H30.8.26 生・平良
母：由香

西平 伊吹（いぶき） くん
H30.9.19 生・平良
父：臣徹　母：千賀

元気なBABY大募集！

お申込みはこちらから↓

☎ 72-3750
Eメール
ph.pr@city.miyakojima.lg.jp

岩田 真凛（まりん） ちゃん
H29.12.28 生・平良
父：裕大　母：詩織

川満 蒼仁（あおと） くん
H30.11.1 生・平良
父：大伸　母：なつき

西里 結望（ゆの） ちゃん
H30.10.14 生・城辺
父：祥貴　母：真理恵

池間 奏人（かなと） くん
H30.10.9 生・平良
母：茜

宮古島史跡探訪～住屋御嶽（すみやうたき）～

宮古島市役所平良庁舎の西側駐車場の隣には、住屋御嶽と呼ばれる根間の里御嶽があります。学問の神様としても崇められており、「根入りや下りあらうふむ真主」という神様が祀られているといわれております。

この御嶽の由来には、継子いじめの伝承が残されているので、ご紹介したいと思います。

『昔々、根間というところに七才になる男の子がおりました。母親が早くに亡くなったので、男の子の父親は後妻を迎え、男の子は後妻が継母として育てることとなりました。しかし継母はとても心根の悪い人で、男の子を疎み、いつもいなくなればいいと思っていました。

ある日のこと、赤豆を煮ていると、男の子がそれを食べたいというので、継母はしめたと思い「ビュウガッサ（クワズイモ）の葉で包んであげるので、住屋のアブ（洞窟）のそばに生えているのを取っておいで。」と言い危険な場所へと男の子を行かせます。

男の子は喜んで取りに行きますが、継母の思惑どおりに足を滑らせてアブに落ちてしまいました。運良く、途中に生えていた蔓に引っかかり、「助けて、助けて。」と七日七晩泣き通しますが助けは来ません。泣き声は父親にも聞こえていましたが、父親も大変心根の悪い人で、前妻との子を疎ましく思っており、男の子の泣き声がうるさいと蔓を切って男の子を奈落の底へ落としてしまいました。

男の子が落ちたアブの底は、「根入りやあろうの国」という、死んだ人がいく国でした。そこには根入りやの神様がおり、まだ小さな子どもがなぜこの国に来たのかと尋ねると、男の子はこれまでの事情を話しました。不憫に思った神様は、男の子を助けるべきかと男の子の運試しを考え、「向こうにいる赤牛を撫でておいで。お前が心根の良い子どもであれば懐くだろうし、お前が心根の悪い子どもであればその角で刺されることだろう。」と言いました。

男の子がおそるおそる赤牛に近づくと、懐いた様子で男の子をペロペロと舐めました。

これを見た神様は、男の子が心根の良い子であると、地上の世界に帰してあげることにしました。

元の世界に戻った男の子は、住屋山へ行き、人々から「根入りや下りあらうふむ真主」と呼ばれる神様になったということです。』

この言い伝えから、この神様は父の裏切りをとても悲しみ、全ての男を呪うようになったとされており、住屋御嶽には男の人が参拝してはならない、又祭祀のお供え物を男子には与えないといわれています。

▲【住屋御嶽】
左側が本来の祠で、右側の祠とイビは「ニーマムトゥ」という御嶽が移転したもの。

［編集・発行］
宮古島市役所 企画政策部 秘書広報課 広報係
電話 0980-72-3751（代表）FAX 0980-73-1645
ホームページ https://www.city.miyakojima.lg.jp/

宮古島市ホームページ
https://www.city.miyakojima.lg.jp/

宮古島市勢要覧
～ 見てわかる宮古島 ～
http://www.city.miyakojima.lg.jp/gyosei/mayor/oshirase/shiseiyouran2016.html

ふるさと納税特設サイト
http://www.miyakojima-furusato.com/?20161017